



(株)タックホーム

代表取締役 立花 清久

一級建築士、宅地建物取引士。昭和41年紫波町生まれ。盛岡工業高校建築科卒業。首都圏の建設会社で大規模建築の現場を多数経験。帰郷後、住宅会社での設計等を経て独立開業。「北上川ポート川下り大会」21回出場、岩洞湖ワカサギ釣りなど興味を持つと、とことんハマる凝り性です。

盛岡市津志田西1-17-33
TEL.019-636-1772
<http://www.tachome.com/>

「いい家」とは何か、
その最適解を探求し続け
「世界で一つ」の家を提案。

工務店概要

平成12年に設立開業。一級建築士を含む4人の建築士が在籍し、自由設計で「世界で一つ」の家を提案する企業です。また3人が宅地建物取引士の資格も持ち、土地購入や税金に関する相談にも対応しています。オリジナル工法「完全6面体キューブ構造」を軸に「寒冷地でも快適かつ省エネな家づくり」がモットー。国土交通省、経済産業省認定の「長期優良住宅」「ゼロエネルギー住宅」「認定低炭素住宅」に約85棟が採択されたほか、省エネルギー性能の優れた住宅を表彰する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」で9期連続受賞(記録更新中)など実績多数。

特徴・強み

強く、自由な「キューブ構造」

住まいは、家族が最も快適でいられる場所であってほしい、と考えています。泣いたり笑ったりの日々の営みの中で、どんなときも揺るがず、大切な家族を丸ごと包んでくれる安心感と心地よさ。そんな「耐震性や耐久性に優れた暖かい家」を届けたいという思いが、私の家づくりの根底にあります。当社が開発した「完全6面体キューブ構造」は、壁などの「面」で支えるツーバイフォー工法と、柱や梁などの「点」で支える在来工法を融合させ、さらにガッチリ「フタ」をして6面体(キューブ)にすることで、歪みに強く気密性の高い構

造体をつくるオリジナル工法です。耐震性や耐久性、気密性などの住宅性能に優れ、さらに設計の自由度が高いのも特徴。強さと優しさ、そして家族の「らしさ」もかたちにした住まいを実現できます。

「人肌の温もり」で暮らす

今、当社が力を入れているのが、PSパネルヒーター(低温水輻射熱暖房)です。パネル熱が壁や床を温め、隅々まで快適な空間を実現。空気の乾燥感がなくホコリもたないのも、肌のトラブルやアレルギーに悩む方にも支持されています。

「室温は低くないのになんだか寒い」と感じるのは、室温より床や壁が冷たく、熱を取られてしまいうから。その点、高機密高断熱な「キューブ構造」とパネルヒーターの組み合わせは温度のムラが生まれないく、人肌程度の温もりで十分心地よく過ごせます。

家づくりのポリシー:こだわり

「心地よさ」を数字にする

「心地よさ」は家づくりの必須項目でありながら、裏付けが難しい言葉(感覚)。私たちはそれを様々な計測から数値化し、「見える化」しようとして取り組んでいます。

例えば、断熱性能の目安Q値は0.95と北海道基準をはるかにクリア。気密性の基準となるC値は0.2、熱貫流率を測るUa値も0.25と、省エネ住宅に求められる条件を余裕で満たしています。

進化、そして次世代へ

自分で言うのもなんですが「キューブ構造」はとても優れた工法です。しかしこれで満足するのではなく、「さらによくする」という探究心で、最先端の最適解を提案していきたいです。こんなことを言うと、今までのユーザーさんが複雑かな…と内心気にしていたのですが、その「進化」を確かめに完成見学会に来てくださる方も多く、嬉しいと同時に身が引き締まります。

こうして家づくりをつづけてくることができたのは「岩手の住環境をよりよくしたい」と取り組んできた先輩方が、まだ駆け出しだった私に経験やノウハウを惜しみなく教えてくれたから。だから今度は、私が伝える番だと思っています。

施工例



盛岡市のお宅

温水パネルヒーターは、すべての空間をやさしく包みます。潤いのある暖房は、ピーエスパネルヒーターの特徴。しっかりした構造と温度差のない空間は、本当の自由設計が可能となります。外観から想像できない太陽光発電搭載のゼロエネハウス。光熱費はもちろん、暮らしのCO₂排出量のマイナス化を実現しました。

Q値0.9 Ua値0.24 C値0.15
設計・タックホーム開発設計



紫波町のお宅

岩手県産木材をたっぷり使った、年間暖房負荷48W/m以下のエコハウスです。クリプトンガスを封入したトリプルサッシで冬は暖かく、夏は日差しをさえぎる大きなひさしで涼しく過ごせます。ヒートポンプエアコンで十分な暖をとれますが、ときには薪ストーブを囲んだ暮らしが楽しめます。設計家とコラボした作品を、施工監理と技術で支えます。

Q値1.0 Ua値0.29 C値0.18
設計・大森典子建築設計